



第 75 号

発行
 〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3
 (公社)いわき市シルバー人材センター
<http://www.silver-brain.com/fukushima/iwaki>
 広報委員会
 TEL 0246-22-1722
 FAX 0246-22-1752



安全講習会



木田トミ子 会員 作品



伊藤弘美 会員 作品



地区班会議

公益社団法人 いわき市シルバー人材センター **会員心得**

1. わたしたちは、シルバー人材センターの目的に誇りをもって働きます。
2. わたしたちは、豊かな経験と能力を生かして仕事にとりくみます。
3. わたしたちは、誠心誠意仕事にとりくみます。
4. わたしたちは、社会参加に喜びと生きがいを求めます。
5. わたしたちは、健康と安全に留意します。
6. わたしたちは、会員相互のふれあいを大切にします。

令和元年度事業計画

(3月26日理事会にて決定)

■基本方針

わが国経済は、政府が経済再生を目指して実施した諸政策、機動的な財政政策等で緩やかな回復傾向が続いており、更なる景気の浮揚も期待されていますが、通商問題による世界経済に与える影響や、中国経済の先行き等、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等もあり、依然として不安要因を残している状況にあります。一方、雇用情勢は急速な少子高齢化による人口減少社会の中、65歳以上の高齢者人口は、平成30年9月末では3,557万人で、総人口比で28・1%と更に超高齢社会になっており、定年延長や継続雇用制度等も定着してきましましたが、現実には更なる労働力人口の減少が懸念されており、高齢者の労働力をいかに有効活用するかが、国を挙げての重要課題となっております。

このような状況の下、地域に

密着し、就業を通じて地域社会の要望に応える元気な高齢者が活躍するシルバー人材センター事業が果たす役割は、ますます重要であり、市民の期待も増大しております。

しかしながら、国の行財政改革による、運営費補助金の削減や震災と経済不況に伴う受注減労働環境の変化による会員数の減少等、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然、厳しい状況にあります。

こうした現状を克服するためには、更なる自助努力も必要であり、公益社団法人として真に地域社会に愛され、信頼される団体となるため、公益性のある事業展開を念頭に組織体制の強化とともに会員増強、就業機会の確保、拡大を積極的に図る必要があります。

いわき市をはじめ関係機関の支援と協力を得ながら、会員、役職員が一体となった連携を更に強化し、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、今以上に会員の主体性や積極性を十分に活かせるセンターとし

て安全・適正就業を基本に更なる事業の基盤拡大と充実発展に努めてまいります。

事業実績目標

- (1) 会員数 一、三〇〇名
- (2) 受託件数 七、〇〇〇件
- (3) 就業延人数 九六、〇〇〇人日
- (4) 契約金額 五〇〇、〇〇〇千円

事業実施計画

一、組織体制の強化

公益社団法人として組織体制を更に強化するため、センターの自主性・主体性を基本に理事会をはじめ班長会議、各種委員会、地区班会議等の有機的な活動の推進を図りながら、より公正で公平な事業運営に努めます。また、いわき市、県連合会、ハローワーク等、関係機関との連携も密にし、地域社会のニーズに応え、信頼を高めるため、会員の就業意欲と共働・共助の連帯意識のもと、会員相互の親睦と融和を図りながら組織の強化に努めます。

二、安全就業の徹底

事業運営の基本である安全

就業を全員で認識し、増加傾向にある賠償事故と傷害事故の皆無を目指し、組織を挙げて取組む必要があります。「安全は全てに優先する」を念頭に、具体的な事故防止対策の策定と就業時及び就業途上の事故を未然に防ぐため、今年度も安全・適正就業委員会、安全就業推進員、安全パトロール指導員を中心として定期的な就業現場視察、就業時の安全一声運動の徹底等による注意喚起を積極的に推進します。また、会報等による啓発とともに各種安全講習会等による安全就業の意識、健康診断の受診促進等による健康意識の高揚に努め、安全就業の徹底を図ります。

三、適正就業の推進

会員の就業形態に応じた法令順守を基本に、適正就業ガイドラインを踏まえて、公平な就業機会の提供を前提として、就業の分ち合いにより多くの会員が働く喜びと生きがいを感じてもらうよう、「就業基準に関する要綱」を基本として、ローテーション

ン就業の推進と就業参加の呼掛けを積極的に行います。また、今年度も就業率の向上のため未就業会員の体験就業並びにアンケート調査等を実施しながら、働く喜びを享受できるように適正就業の推進に努めます。

四、福祉・家事援助サービス事業の推進

超高齢社会が進展する中、福祉・家事援助サービス業の需要が年々増加してきている現状を踏まえながら、受注体制の強化のため、実践に即した講習会を実施すると共に、発注者、就業会員の多様なニーズを的確に把握しながら、希望に合った仕事の紹介に努めます。

福祉・家事援助サービス事業の充実のため、「福祉の受け手から担い手」を目指して、会員の確保、育成を図り、センターの役割を十分検討しながら少子高齢社会に対応すべく積極的な事業展開を図ります。

五、会員拡大の強化推進

センター事業の根幹をなす会員数を確保するため、会員拡大

を最重要課題とし、減少傾向にある会員数を増加させるため、入会説明会（原則月5回）の充実を図ると共に、会員の口コミ強化、街頭啓発活動等による積極的な入会促進活動を実施し会員拡大を推進します。多種多様な就業依頼に常に対応できるように、センター理念に賛同し、自己の知識・経験を活用し、就業を通して社会参加と生きがいづくりを希望する、より多くの健康で働く意欲と能力のある会員の確保に努めます。併せて積極的な就業呼掛け等により退会抑止に努め、会員拡大を推進します。

六、各種技能講習会の充実、強化

好評を得て、受注量が増加している技能職群、襖張替え、植木剪定、筆耕等の仕事にスムーズに対応できる体制を更に強化するため今年度も技能職群の就業会員育成を目的とした技能講習会の充実を図るとともに、発注者や利用者等により満足いただけるよう接遇研修等、目的に沿った各種講習会も積極的に開催します。また、高齢者の就業

支援を前提とした、高齢者活躍人材確保育成事業の技能講習も県連合会との連携を図りながら実施します。

七、普及啓発活動、就業機会開拓の推進

シルバー人材センター事業を地域社会に広く理解・浸透させ就業拡大を図るには普及啓発活動は大きな役割を果たします。センターのホームページによるPR、会報、リーフレットの有効活用、街頭啓発活動の実施等、様々な機会を通じて普及啓発に努め、関係機関との連携を図りながら、企業、各種団体、個人家庭へのPR活動を強化し、普及啓発活動を推進します。また、就業機会の更なる拡大のため、会員、班長、役職員が一丸となり積極的に就業機会の掘り起しに努めると共に、今年度も役員による事業所訪問等を実施し就業機会の開拓推進に努めます。

八、多様化する就業形態への対応

労働力人口の減少もあり高齢者の雇用情勢は法律改正を受け多方面で変化が見られ、セン

ターで扱う就業形態も従前からの、請負・委任による就業はもとより臨時的・短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業等、より多様化してきております。高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の拡大を図り、会員と発注者のニーズを的確に把握しながら、仕事の量的確保、拡大を図るため、労働者派遣事業、職業紹介事業にも積極的に取り組みます。

九、地域社会への貢献と共存

公益社団法人として真に信頼され、親しまれるセンターとなるためには、地域に根ざした協力、協調関係が何にもまして重要であり、共存、共栄の立場から地域あつてのセンターを念頭に感謝の心を持って、今年度も公益目的事業の一端として市内3ヶ所でのゴミ拾い清掃の地域美化奉仕作業、サンシャインマラソンのボランティア参加等の活動を継続し、会員作品展示会等の文化活動も積極的に実施しながら地域社会への貢献と共存を図ります。

活躍する仲間を 増やそう!!

(会員100万人(全国)を目指す)

日本の総人口は、長期の人口減少過程に入っており、令和35年には1億人を割ると推計されており、高齢化率は平成29年11月現在で27・8%です。令和47年には約2・6人に1人が65歳以上となります。この様な中、シルバーの会員は国の補助金が開始された昭和55年から増加してきましたが、近年65才までの雇用義務化などもあって平成26年度以降横ばいとなっており、会員男女別をみると男48万人・女24万人(28年度)であり女性会員の更なる拡大が期待されます。

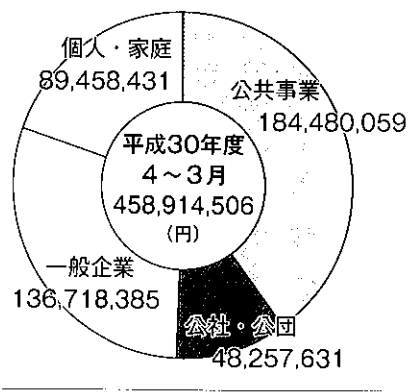
当センターでも全国シルバー人材センター事業協会が目標としている1、143名に達していないため、会員一人ひとりのお力添えが必要です!! みんなで会員拡大に努力しましょう!!

平成30年度事業実績速報

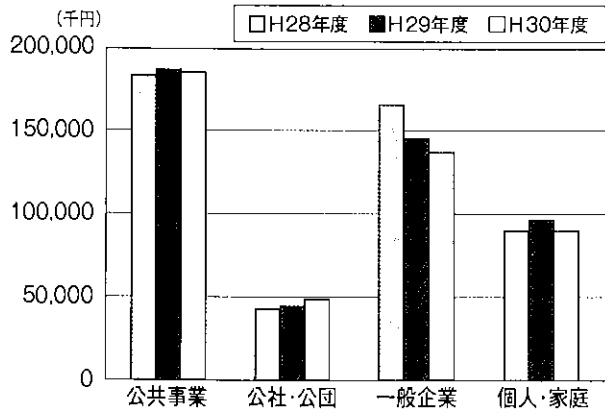
平成30年度事業実績(4月~3月)を見ますと、景気の浮揚も多少見えてはいますが依然として低調な経済状況下、会員各位のご努力、市当局並びに関係機関のご協力により事業運営は順調に推移しております。契約金額は残念ながら前年度比で2・7%減となりました。

内訳を見ますと公共事業、公社・公団からの受注は、前年度比で増加しましたが、民間受注は、特に企業からの発注が厳しく、減少傾向にあります。個人・家庭からの受注は増加しました。一方、平成30年度の労働者派遣事業による実績(契約金額18,081千円)は前年度比で22・3%増となっております。

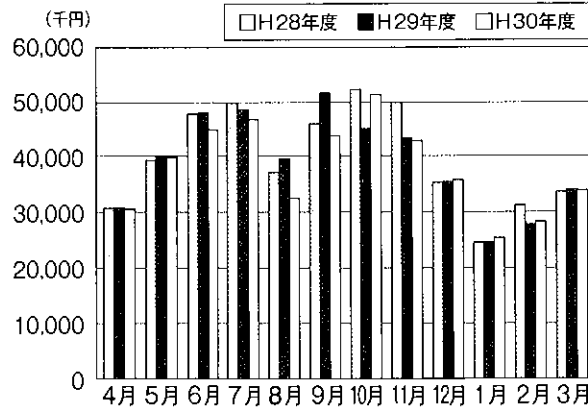
平成30年度発注者別契約金額



年度別・発注者別契約金額(4~3月)



年度別・月別契約金額



地区別会員数 平成31年3月末現在(人)

地区	男	女	計	地区	男	女	計
平	239	91	330	小川	28	4	32
小名浜	181	38	219	久・大	9	2	11
勿米	117	45	162	三和	32	10	42
常磐	97	18	115	遠野	15	9	24
内郷	52	20	72	田人	8	4	12
四倉	38	24	62	川前	3	3	6
好間	24	11	35	合計	843	279	1,122

令和元年度 定時総会のお知らせ

令和元年度定時総会を6月14日(金)13時からいわき市文化センター大ホールにて開催いたします。年に一度の重要な会議であり、会員のみなさんが一堂に会する絶好の機会ですので、万障繰り合わせのうえ、ご参加下さい。

尚本年度の会費未納の方は、当日納入下さるようお願いいたします。現在事務局でも受け付けております。

(年度会費二千五百円)

いづちら取材班!



今回取材班はいわき市遠野町にある湯本スプリング・スカントリークラブを訪ね、シルバー人材センター会員皆さんの就業状況を、支配人の平山忠幸様にお伺いしました。

Q シルバー人材センターにはどのような仕事を依頼されていますか。

A 以前は4人でしたが、現在は3人の方々にゴルフ場の中で刈り取った芝や草を集めてもらい所定の場所に運んでもらったり、広大なゴルフ場回りの法面等で切り倒した木々や除草した草の片づけ等をしてもらっています。

なお、安全面を考慮し、刃物機械を用いた作業は当社社員で行っています。

Q 仕事ぶりはいかがでしょうか A 年令の割にはほんとうに良く

やっていただいており、非常に助かっています。

Q シルバー人材センターのイメージはどうでしょうか

A 以前よりシルバー人材センターが都道府県にあり、色々なスキルを持ち仕事に意欲的な方々がたくさん登録されているものと承知しております。皆さん何事にも一生懸命で仕事も丁寧だとの印象があります。

Q 今後、シルバー人材センターに期待すること等、お聞かせ下さい。

A これから就労人口が少なくなってくる反面、ゴルフ場などで増えると思われる作業は、適材者の迅速な派遣など柔軟な対応を期待しております。

◎御多忙中のところ、貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。ございました。

末永くご愛顧をお願いいたします。

リレー紹介

『田人町の石割桜』

田人班 緑川 忠義

この桜は、根が岩を割り裂いて四方八方にそびえ立ち、その神秘的な姿は他を圧倒する大木で遅咲きではありますが、淡い紅色の美しい花を咲かせ訪れる人々の目を楽しませてくれます。

昭和54年3月に本市の保存樹木に指定されました。樹種名は「ヤマザクラ」で、現場にある指定標識によると、暖地の桜で阿武隈山地が北限といわれています。阿武隈

山地や丘陵部の日の当たりのよい自然林に自生し、ソメイヨシ

ノよりおそく赤みを帯びた葉と共に淡紅色の花が咲きます。指定当時の樹高で

おらが班自慢



すが13・8m、幹囲は5mと記されており。皆さんも全国的に有名な岩手県盛岡市の石割桜は御存知と思いますが、それにも勝るとも劣らない樹木であります。今年の開花は多分4月中・下旬頃と予想していますが、何分自然相手ですので……。

会員の皆さんも是非花見にお出かけ下さい。おいでになる時は事前にいわき市田人支所に開花状況・道順など照会してお越し下さい。



平成31年4月2日撮影

講習会実施報告

(公社)いわき市シルバー人材センター主催

◆接遇マナー講習会

月日 1月25日(金)
 会場 当センター会議室
 内容 技能職・一般作業リール
 講師 ニチイ学館いわき支店
 受講者 水野むつみ氏
 志賀 久美氏

◆襖・障子張替技能講習会

月日 2月5日(火)～8日(金)
 会場 当センター会議室
 内容 襖・障子張替の技能修得
 講師 小野 作雄 会員
 平子 猛 会員

受講者 会員16名



◆クロマツ剪定講習会

月日 2月21日(木) (座学)
 22日(金) (実技)
 会場 いわき市総合運動公園内
 内容 クロマツの剪定における知識と技術について
 講師 (有)箱根ランドスケープ 代表取締役 箱根保光氏 (センター専任講師)
 受講者 座学 会員21名
 実技 会員21名

◆刃物研ぎ講習会

月日 2月27日(水)
 会場 当センター会議室
 内容 刃物研ぎの方法と技術について
 講師 熊谷 智之 会員
 受講者 会員6名



◆雑木剪定講習会

月日 2月28日(木)
 会場 いわき市フラワーセンター
 内容 雑木の剪定講義および実技
 講師 (有)箱根ランドスケープ 代表取締役 箱根保光氏 (センター専任講師)
 受講者 会員26名



◆刈払機メンテナンス講習会

月日 3月27日(水)
 会場 当センター会議室
 内容 刈払機の点検・整備の方法及び作業の方法
 講師 やまびこジャパン(株) 東北支社福島営業所 主任 宮下 尚之氏
 受講者 会員9名

各種講習会のご案内

令和元年度の講習会のご案内です。

I 技能講習

講習会名	日数	募集人員	開催予定時期
刈払機取扱作業従事者講習	2	30	5月・1月
筆耕	1	20	11月
刃物研ぎ	1	20	11月
接遇	1	30	1月
刈払機メンテナンス	1	30	1月
黒松剪定	2	40	2月
襖・障子張替え	5	50	2月
雑木の剪定	1	40	2月

II 福祉・家事援助サービスクラス講習

講習会名	日数	募集人員	開催予定時期
調理実習	1	20	11月
介護講習	1	25	11月
清掃講習	1	30	11月

希望者は、事前に申し込みし、ご確認ください。日程等が決まり次第、申込者だけに通知します。(定員を超えた場合は、抽選となります)

(事務局 22・1722)

事務局だより

■平成30年度・地区班会議が開
催されました。

◆安全講習会「救急知識等」
講話・心肺蘇生等

講師 いわき市内各消防署担
当署員

◆地区班会議(地区別出席状況)
(別表1)

1. 班ごとに懇談(自己紹介等)
2. 地区懇談
3. その他(質疑応答)

◆適正就業ガイドラインの説明

地区班会議出席状況 別表1

日程	開催場所	該当地区	会員数	出席者数	出席率
3月1日(金)	四倉公民館	四倉・久之浜地区	72名	31名	43.1%
3月4日(月)	好間公民館	好間・三和地区	78名	29名	37.2%
3月5日(火)	内郷公民館	内郷地区	71名	25名	35.2%
3月7日(木)	小川公民館	小川・川前地区	38名	23名	60.5%
3月9日(金)	小名浜市民会館	小名浜地区	217名	76名	35.0%
3月12日(火)	市文化センター	平地地区	328名	103名	31.4%
3月14日(木)	常磐公民館	常磐・遠野地区	139名	51名	36.7%
3月15日(金)	勿来市民会館	勿来・田人地区	174名	57名	32.8%
合計			1,117名	395名	35.4%

※時間 午後1:30~午後3:30まで

安全・適正就業委員会から 会議内容の報告(3月19日開催)

平成31年3月19日に開催した第3回安全・適正就業委員会において、かねてよりの懸案事項であった刈払い機による飛石事故(平成30年度・賠償事故件数10件・賠償額・約260万円)について、県内の12市シルバーセンターに向けて実施した賠償責任事故に関する調査(別表2)を参考に、事故削減のために必要な方策等について話し合いを行いました。その主な内容については次のとおりです。

○会員の罰則規定について

- ・賠償事故を起こした会員には事故の原因と改善策を示した報告書の提出を義務づける。
- ・1年以内に2回の賠償事故を起こした会員は、1年間同一業務における就業を停止する。
- ・就業基準を含め細かい規定の内容については今後検討を重ねた上で決めていく。

○免責負担金について

・就業規約に記載している

賠償責任事故に関する調査(回答) 別表2

センター名	30年度1月まで	罰則規定	免責負担
福島市	8	なし	なし
郡山市	4	なし	過失が重大な場合に
会津若松市	4	なし	10,000円
須賀川市	1	あり	5,000~50,000円
白河・西郷	5	なし	10,000円
そうま広域	4	なし	1,000円
南相馬市	2	なし	1,000円
伊達市	3	なし	なし
本宮市	1	あり	10,000円
二本松市	4	あり	10,000円
田村市	1	あり	5,000円
喜多方市	4	なし	10,000円
合計	41		
平均	3.42		

※いわき市 10 なし 1,000円

会員の自己負担額については現行の1,000円とする。

○地区ごとの講習会(懇談)の開催について

- ・次年度なるべく早い時期に市内8地区において講習会を開催する。
- ・刈払い機を使用する会員には参加を義務化する。
- ・参加者にセンターにおける賠償事故の発生状況を周知する。

なお、本件に関しては理事会での審議を経て明文化することとします。

(安全・適正就業委員長
中島 喜二)

◆役職員による先進地研修報告

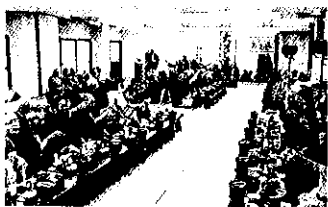
過日、理事長外13名で長野県上田地域のシルバー人材センターに賠償事故(草刈機)の減少実例等研修して参りました。その実例と規則の制定等々は、我がセンターでも即導入できる項目が多々あり大変参考にまりました。

早速、安全・適正就業委員会では上田地域を参考に、会議を開き、罰則規定・免責負担金、安全講習会等、具体的な草案づくりに取りかかることができました。



◆楽しかった一泊の旅(共助会)

2月14日(木)~15日(金)恒例となった「冬の会津路と観劇の旅」は、会員51名の参加で実施され、夜の宴会では大変盛り上がり、会員相互の親睦を図ることができました。



▷シルバーの未来を拓く…安全就業◁

カメラ 銀の汗ポ



〈美術館駐車場管理業務〉

利用される皆様が何よりも安心・安全に駐車場をご利用できるように心がけ、日々がんばっております。

(箱崎 勝義 会員)



〈江名公民館清掃作業〉

公民館に来館した皆様が気持ち良く利用できるよう、清掃に、お花の手入れにと、楽しく仕事に取り組んでおります。

(榎田 洋子 会員)



〈個人宅の除草作業〉

お客様より「きれいになりましたね」の言葉が明日への励みになり、きれいに仕上がった時は、自分自身の気持ちも爽やかになります。

(西山(利)・西山(ト)・武田 各会員)



〈屋外施設清掃作業〉

21世紀の森公園の屋外施設(トイレ)の清掃を3人交替で行っており、「いつもきれいになってますね」の言葉に励まされ、頑張っております。

(小竹 あき子 会員)



〈店舗内清掃作業〉

お客様から「この店が一番きれいですね」とほめられると嬉しくなり、身体が続く限り一生懸命がんばりたいと思っております。

(五島 良子 会員)



〈切枝・落葉の清掃作業〉

ゴルフ場周辺の草や木の枝の片付け等を行っています。メンバー全員、怪我のないよう安全就業に気をつけて頑張っております。

(小沢・佐藤・鳥越 各会員)

◇ あとがき ◇

今日5月1日は新元号の第一日目。自然災害のない時代に、穏やかに暮らせる世の中になど、今は新しい時代への期待感でいっぱいです。

最近目につくのが高齢者を狙った詐欺です。一時は下火になりましたがまた復活してきたようです。つい先頃はいわきでも200万円騙し取られるという事がありました。最近では「オレオレ」「振り込め」「なりすまし」に加えて「アポ電」という巧妙な手口を使った強盗がでてきました。大事なトラの子ばかりか生命まで失った人もおられます。「私は大丈夫」という人が一番騙されやすいそうです。電話に録音機をつける、留守電にするなどの自衛手段、さらに電話での対応には冷静に考える時間をつくるなどして騙されないようにくれぐれも御注意下さい。

- 広報委員長 山本 禎子
- 広報委員 永山 重康
- 広報委員 根本 文彦
- 広報委員 鈴木 昌子